

第1回 後志利別川大規模氾濫に関する減災対策協議会 議事要旨

日時 : 平成28年5月23日(月) 13:00~14:20

会場 : 瀬棚町民センター

構成員 : 国土交通省北海道開発局函館開発建設部長、気象庁函館地方気象台長、北海道檜山振興局長(代理出席)、北海道渡島総合振興局・檜山振興局副局長、北海道警察函館方面せたな警察署長(代理出席)、せたな町長(代理出席)、今金町長、檜山広域行政組合せたな消防署長、檜山広域行政組合今金消防署長

【議事】

- (1) 全体のスケジュールについて
- (2) 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組について
- (3) 後志利別川大規模氾濫に関する減災対策協議会(仮称)趣旨
- (4) 後志利別川水防連絡協議会規約の改定について
 - ・規約の改正については、委員全員一致で承認された。
- (5) 現状の水害リスクや取組状況について
 - ・現状の水害リスク情報や減災のための取組状況を共有。
- (6) 減災のための目標(案)について
 - ・5年間で達成すべき目標および目標達成に向けた”3本柱”の確認。
 - ・減災のための目標については、委員全員一致で承認された。
- (7) 今後のスケジュール
 - ・今後の具体的な取組項目、フォローアップ方法の検討依頼。
 - ・適時、幹事会(6月開催想定)を開催して議論のうえ、第2回後志利別川大規模氾濫に関する減災対策協議会を開催(7月下旬を予定)し、「今後の具体的な取り組み項目の策定」「フォローアップ方法の承認」を実施する予定。
 - ・毎年、同協議会を開催し、取組項目の実施状況についてフォローアップを実施予定。

【主な意見】

《今金町》

- ・国を中心にこのような協議会が組織されたことに感謝。
- ・減災は住民の意識が重要である。
- ・ハザードマップを対象とした点検を行い情報の収集と伝達をしっかりと行いたい。
- ・今金町では、かつての河川氾濫で十数名の被害が発生している。
- ・現在進められている堤防強化に期待している。
- ・出水時には内水氾濫が多い状況であり、内水排水が課題と考えており、本協議会で目標設定し取組みを決めることに感謝。
- ・過去の経験から出水時の水位上昇と満潮が重なることが多いという認識であり、この観点からも内水排水が重要と考えている。あらためて関係各機関による情報共有と減災の取り組みをお願いしたい。
- ・早い段階の情報での出水対応を行った後で、被害対応が発生する可能性があるため全体の情報把握が必要。

《せたな町》

- ・出水対応等函館開発建設部及び函館建設管理部他関係機関に感謝。
- ・せたな町は下流部に位置しているため、氾濫等被害が大きくなる傾向がある。
- ・高齢者も多く、上流の降雨状況など情報共有が減災対策として有効であると考えている。
- ・ゲリラ豪雨が増加傾向であり、建設会社との協定を強化していきたい。また関係各機関には、ゲリラ豪雨に関する減災対策もお願いしたい。

《せたな警察署》

- ・せたな警察署は小規模であり、初期対応を行うにあたって情報の共有化が重要である。

《渡島総合振興局・檜山振興局》

- ・洪水対応及び流下能力向上に取り組んでいるが、支流は小規模なため小規模な降雨でも氾濫しやすいことから避難までの時間が少ない恐れがある。ハザードマップの作成も行っているが、小規模な降雨にも対応したハード整備をしっかりと実施していく所存。
- ・大規模出水に対する取り組みについては、情報収集及び関係機関との連携により推進していきたい。

《檜山振興局》

- ・水防災については、各関係機関との連携が重要と考えており、今後ともより一層の連携強化へのご協力をお願いしたい。

《函館地方気象台》

- ・気象台が気象情報の第一発信者であり、重要であると認識している。
- ・北海道管理河川に関係する業務も国河川と同様に対応している。
- ・減災及び人命を守るのが第一目標としている。
- ・平成29年度出水期を目処に警報級の自然現象については、一般向けに天気予報で「高」「中」と情報提供を開始する予定であり、減災に繋がればと考えている。

《せたな消防署》

- ・せたな町内で数年前ゲリラ豪雨で真駒内川が氾濫の恐れがあった。
- ・消防署は高台に移転し運用を開始している。
- ・町民に対して安心の防災対策を実施していきたい。

《今金消防署》

- ・昨年、土のう作成用として消防庁舎裏に10㎡の山砂を用意した。
- ・団員数が85名と少ないのが課題であり、増員していきたい。